



週刊(第5除く木曜日発行)  
 定価 月 3,200円(年 38,400円)  
 (決算統計号代除く)  
 発行所 協栄保険研究所  
 (〒151-8691)  
 東京代々木郵便局私書箱第15号  
 東京都渋谷区本町1-17-3  
 電話 03(3376)3331  
 FAX 03(3376)7125  
 振替 00190-6-70360  
 編集兼発行人 島田和明  
 支局 中国、九州  
 印刷 日本ハイコム株式会社

### 宮澤裕一氏(談)

メディカルリサーチ(株)  
代表取締役

## 医療画像の精査を実施

近年、交通事故や様々な傷害事故、医療現場でのトラブル等の発生に際し、事故の発生原因や死亡に至った経過、後遺障害の認定評価を巡って係争に発展するケースが増加傾向にある中、医学的な観点から可能な限り客観的な裏付けをもって検証精査し、早期に適正な解決を図ることが当事者はもとより、医療や司法の現場からも強く求められています。

かかる状況の下、私どもは、診断分野や臨床各専門分野の医師の協力を得て、医療画像の精査、鑑定や意見書作成等を通じ、保険会社や調査会社、弁護士事務所等で行われる医療分野に関する確認・調査をサポートする活動を10年間展開してきました。扱った多くの症例の中には、ケーススタディとして医学的にも有意な事例も数多くあ

り、人材育成のための教材事例としても有効な蓄積ができました。それとともに、医療調査の分野においても「医学的に客観性をもって検証する」仕組みが十分に確立されていない問題に対し、医療現場のノウハウを活用してその解決法を構築していく、という課題にも取り組むこととなりました。

例えば、CTやMRIなどの医療画像は、事案検証を行う上で最も客観的な証左となり得るものの一つですが、画像検証の重要性が一般的には十分に認識されていません。画像診断を専門に行うプロフェッショナルの医師がいることを多くの人たちが知らないのも、大きな理由の一つです。

当社では、250名の読影医のネットワークを活用し、高度な医療画像の精査を実施するとともに、その他の検査データなど客観性の高い医証の検証をベースとして、臨床各分野の専門医によるカルテ等の精査を重ねた結果得られた見解を意見書などで提供します。また、係争段階であるか否かに関わらず、早期に問題事案の解決を図ることは、経済的にも精神的にも当事者の負担を軽減することになるが、当社では、サービス提供のプロセスをIT化することによって、早期解決のための仕組みを提供していきます。(文責・編集部)

—5月27日のプレスセミナーから—

# 損保版

六月号第二集目次

オビニオン / 医療画像の精査を実施

主間の動き / 『本業』を再確認する時 宮澤裕一氏

携帯電話などモバイル主体で営業開始 (au) 損害保険協会の協賛による商品販売 (協栄・理事会)

夏の電力15%削減 (協栄・理事会)

インタビュー / 不明者対応が震災の一番の課題 田中哲男氏

時直言 / 金融庁・保険課長 白川俊介氏

我観 / 未来に評価される復興策を 田中哲男氏

連載 / 中国保険ニュースレター 1 沙 銀華、崔 哲男

ニ / 妄言 28 坂井幸二郎

米 / AND とアドリックが合併認可 米東海上HD 成長戦略を推進

新 / 社長と桜井洋二氏 (eザイン) を推挙 (三井住友海上)

マ / フロントと提携 (三井住友海上)

介 / 護日バケイフサレシビ開発

5 / 月26日現在約8億4700万円に

ハ / 協会の東日本震災の支払保険金

被 / 災地産品向け読書 (三井住友)

復 / 災義援金付ボロシヤツ (AND)

震 / 災義援金351万9千円 (AND)

自 / 動車保険料改定 (富士)

水 / 道凍結事故で1億1千万円 (協会)

異 / 動メカニクス (S&K)

人 / 事 (S&K)

統計 / 8社速報 (4月) 2420